|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名【Ｒ３年度】 | | | 禁煙支援 | | | | | | | | |
| 背景（データヘルス計画との関係性・健康課題・計画での位置づけ） | | | 糖尿病重症化予防事業の中で行った、数年以内に人工透析又は虚血性心疾のリスクがある者各上位100人（重複含む）のうち、約30人が喫煙をしている（重複含む）ことから、喫煙者に対する取組が必要である。 | | | | | | | | |
| 目的 | | | 禁煙に関する情報提供により禁煙の動機付けを行う | | | | | | | | |
| 対象者  周知・募集方法 | | | 委託業者分析システムから健診時において、喫煙の習慣があると回答したもの。 | | | | | | | | |
| 事業内容 | 実施期間  実施日時  実施場所  内容 | | 新年度の目標を禁煙とするきっかけになるように12月ごろに喫煙のリスクやセルフメディケーションの大切さ、市が実施する禁煙外来治療費助成事業について通知する。 | | | | | | | | |
| 実施体制  （従事者・担当ごとの役割等） | | 保険医療課：事務１名、保健師1名　健康推進課：1名（禁煙外来治療費助成事業）  抽出：委託業者の分析ツールを用いて保険医療課職員が実施。　通知作成：既製品を購入予定（購入するチラシについては健康推進課と協議して決定する）  通知発送：保険医療課（12月頃）　事業評価：委託業者 | | | | | | | | |
| 今年度の重点目標 | | | 適切な対象者に通知を発送する。 | | | 重点目標に対する実施後の評価 | 対象者全員に通知を発送した | | | | |
| 目標  評価指標 | | 区分 | 事　業　計　画 | | | 実施後の評価（＊達成度　Ａ：目標達成　Ｂ：目標達成していないが改善　Ｃ：変化なし　Ｄ：悪化　Ｅ：判定不能） | | | | | |
| 指標（事業番号ごとに設定） | 目標値 | 評価（データ入手方法・  入手先・時期） | 指標の評価結果 | | 達成度＊ | 成功・推進要因 | 課題・阻害要因 | 全体評価・今後の方向性 |
| ストラク  チャー | 保険医療課と健康推進課で実施方法の検討 | 打ち合わせ開催 | 計画時、評価時の2回 | 打合せを実施し、その後も適宜情報共有を行った。 | | A | 早い段階で、事業実施についての情報共有をした。 | 新年の目標を禁煙にするために12月に発送したが、その結果まだ健診結果がない人もいるため前年度の健診結果を使用。そのため既に禁煙した人もいたと考えられる。 | 新年の目標を禁煙にするということで、禁煙及びセルフメディケーション支援の通知、保健師による支援に関する通知を発送した。喫煙は趣味として継続している人も多く、今後の実施方法には検討が必要。 |
| 業務に従事するマンパワーの確保 | 必要数の確保 | 事業開始時及び終了時 | 計画どおりの実施体制で事業を実施できた。 | | A |
| プロセス | 対象者の適切な選定 | 対象者の適切な選定 | 事業開始時及び終了時 | 令和2年度の健診結果を基に選定。12月に発送を予定したため、直近の健診結果を反映していない。 | | B |
| 対象者への勧奨通知の内容・送付時期の適切性 | 内容、時期ともに適切に送付する | 事業終了後、次年度健診結果から評価 | 適切なタイミングで適切な通知を発送した。 | | A | 適切に準備をすすめた。 |
| アウトプット | 対象者への通知発送率 | 100％ | 事業終了後評価（1月） | 対象者全員に発送した | | A | 適切に準備をすすめた。 |
| アウトカム | 翌年健診結果で現在煙草を習慣的に吸っていますかという項目に対してはいと答える人数  ※参考値R1年度347人（受診者の10.3%)、R2年度317人（受診者の10.2%) | 受診者の9％ | 次年度健診結果から評価 | 次年度の健診結果で評価 | | E | － | － |
| 通知対象者の内、事業利用者数 | 20％ | 事業終了後評価（1月） |  | |  |  |

**個別保健事業計画・評価　　　　保険者名（長久手市）　　国保ヘルスアップ事業申請　有（ A　　 B　　 C　）　 無**　注：青の囲み部分は事業実施後の評価時に記載